

推し活効果 人生後押し

交友関係広がり幸福度もアップ

梅田スカイビルにある推し活用のフォトスポット
(梅田スカイビル空中庭園展望台・Oshicoco提供)



リーグ優勝を達成し場内一周する阪神ナイン。国内で約1万6000人の軽度認知症患者により影響を与えたという推計も

—令和5年9月14日、甲子園球場

お気に入りのアイドルやキャラクターなどを応援する「推し活」。市場規模は3兆円超ともされ、裾野も広がり続けている。その推し活が、経済だけでなく幸福や健康などの分野でも好影響を与えていることが、さまざまな調査で明らかになってきた。効果は若者だけでなく、高齢者にも及んでいるようだ。(秋山紀浩)

推し活の調査研究を行っている「推し活総研」では「推し活がもたらしている」推し活総研」きつかけでできた友達がいる」との回答が全体の27%、「自身の一部、アイデンティティー」と感じている人が25%にのぼり、交友関係や個性にも深くかかわっていることが明らかになった。推し活総研の多田夏帆所長は「推し活は単なる消費で

はなく、自分が知らなかった世界とつながる行為になっている」と分析する。

こうした推し活は幸福度の向上にも関連しているという。野村総合研究所が令和5年5月に発表した調査では、幸福度の3アンケートが10点満点中で8点以上の割合は、「推しがない」人は20・9%にとどまるのに対し、「1個」の人は31・8%、「2個」は40・7%と高い値となった。

調査にあたった研究所

阪神優勝でファンの認知症改善

調査は阪神タイガースがリーグ優勝を決めた翌日の令和5年9月15日から年末にかけて実施。その年のプロ野球セ・リーグ開幕前と阪神タイガース優勝後で、同球団を応援する軽度認知症患者で攻撃的暴言や昼夜逆転などの症状を示

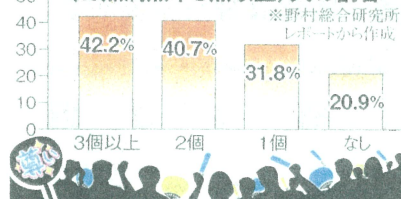
一方で推し活を巡っては、メンズ地下アイドルにはまった中高生が家庭の金を持ち出したり、犯罪に手を染めたりするケースも確認されている。警視庁少年育成課は「過剰な推し活は金銭の浪費や生活の乱れにつながる」と注意を呼び掛けている。

未来創発センターの塩崎潤一氏は「夢中になれる趣味があることで、高い幸福度を導くことができる」と指摘。推し活は一日本人の幸福を形成する要素の一つと評価する。

推し活は若者だけでなく高齢者にも良い影響を与えているとの研究もある。脳神経内科「はつたクリニック」(大阪府枚方市)の初田裕幸院長は、物忘れ外来に通院する男女855人を対象に、プロスポーツの勝敗と認知症症状の関連を調査した。

調査は阪神タイガースがリーグ優勝を決めた翌日の令和5年9月15日から年末にかけて実施。その年のプロ野球セ・リーグ開幕前と阪神タイガース優勝後で、同球団を応援する軽度認知症患者で攻撃的暴言や昼夜逆転などの症状を示

推し活の個数と幸福度スコアが高い(10点満点中8点以上)人の割合



すスコアが改善したことが分かった。一方、そもそもスポーツ観戦しない人や、ひいきのチームがない人では数値に変化がなかった。各種統計などから阪神の優勝が、国内で約1万6千人の軽度認知症患者により影響を与えたと推定することも可能だという。初田氏は「ひいきのチームが勝利し、プラスの感情が積み重なることで、他のストレスに強くなったのかもしれない」と推察。また、攻撃的暴言の減少は、同居家族など周囲の人たちへの影響も大きいと指摘する。